

次期「島根県がん対策推進計画」における分野別施策及び数値目標

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標					
				行政		教育		医療機関		検診機関	関係団体	企業	県民、患者、家族	指 標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方		
				県庁	保健所	市町村	県	市町村	拠点病院									情報提供機関	その他
がんの1次予防(発生リスクの低減)	食生活や運動習慣等の生活習慣の改善	食生活の改善	・野菜や果物の摂取不足、過剰な塩分摂取、多量飲酒の改善等の取り組みを、市町村やボランティア団体との連携により推進 ・家庭、学校、地域の関係者が連携して子どもの頃からの食育を推進	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎野菜の摂取量の増加 (1日摂取量 350g 以上)	【H22 年度データ】 男性 46.1% 女性 38.6%	男性 53.1% 女性 49.3%	※健康増進計画の目標値を適用 ・国の目標設定の考え方に準拠することを基本に、県の実態等を踏まえて各指標の目標値を設定。	
		運動習慣の推進	・職域関係者との連携により、働き盛り世代の運動習慣を持つ人の増加を推進													◎20歳代の野菜摂取量の増加 (1日摂取量 350g 以上)	男女 27.8%		男女 33.9%
																◎20歳代の野菜摂取量の増加 (1日摂取量 350g 以上)	男女 36.0%		男女 43.0%
			◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎果物の摂取量の増加 (1日摂取量 350g 以上)	男性 67.1% 女性 57.0%	男性 58.6% 女性 48.5%			
																◎適切な食塩の摂取 (1日摂取量 8g 以下)	男性 23.5% 女性 31.1%		男性 31.8% 女性 40.6%
																◎多量飲酒者の減少 (男性は毎日2合以上、女性は毎日1合以上飲酒)	男性 9.0% 女性 3.0%		男性 7.9% 女性 2.8%
																◎運動習慣の増加 (1日30分以上を週2回以上、1年以上実施)	男性 28.3% 女性 22.2%		男性 34.2% 女性 24.6%
	感染に起因するがんへの対策	肝炎に対する正しい知識の普及啓発	・肝炎に対する正しい知識や肝炎ウイルス検査の必要性を、医療機関等を通じて普及啓発 ・市町村が実施する肝炎ウイルス検査の実施状況の把握 ・効果的な検診を実施する市町村の取り組みの紹介	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	島根県肝炎協議会の検討結果を踏まえて目標を設定				
		肝炎ウイルス検査の受診促進	・受検者の利便性を図るため、委託医療機関を大幅に拡充	◎	◎	◎			○	○	○		◎						
		適切な肝炎医療の提供	・かかりつけ医と肝炎専門医療機関の連携を強化	◎					○	○	○		◎						
子宮頸がん予防ワクチン接種の推進		・予防接種の実施主体である市町村との連携による啓発	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎							
たばこ対策の推進	受動喫煙の防止対策	・たばこの煙のない飲食店や理美容店等の情報提供 ・受動喫煙のない職場の実現に向けた働きかけ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	・喫煙率	【H22 年度データ】 男(全年齢) 30.7% 女(全年齢) 7.0% 男(20~39歳) 46.0% 女(20~39歳) 11.3%	男(全年齢) 21.5% 女(全年齢) 5.1% 男(20~39歳) 31.9% 女(20~39歳) 8.4%	※健康増進計画の目標値を適用 ・国の目標設定の考え方を踏まえ、「現在喫煙習慣がある者のうち、今後禁煙したいと思っている者が全員禁煙に成功した」場合の喫煙率を目標値として設定。			
	未成年者の喫煙防止の推進	・未成年者の喫煙調査の実施 ・調査結果の情報提供	◎	◎	◎	◎	○	○	○		◎								
	たばこをやめたい人への支援	・禁煙治療が可能な医療機関について、ホームページ等により情報提供 ・禁煙手帳の配布	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎							
	たばこ対策の普及啓発の推進	・たばこが健康に与える悪影響等の普及啓発	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎							

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標						
				行政		教育		医療機関			検診機関		関係団体		企業	農林・患者・家族	指標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方
				県庁	保健所	市町村	県	市町村	拠点病院	情報連携	その他	検診機関	関係団体							
がんの2次予防(早期発見・早期治療)	がん検診受診者数の増加に向けた取り組みの推進	がん検診の普及啓発の推進	・がん検診の実施主体である市町村をはじめ、幅広い関係者との連携による普及啓発の実施	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	・がん検診の受診者数、受診率【全年齢】(※受診率は◎) ◎がん検診の受診者数、受診率【40～69歳】(※子宮がんは20歳～69歳) ・市町村が実施するがん検診の精密検査受診率	【H23年度データ】 胃がん 98,595人 (30.5%) 肺がん 135,108人 (41.8%) 大腸がん 137,843人 (42.7%) 子宮がん 34,753人 (30.0%) 乳がん 30,685人 (37.4%) 胃がん 75,815人 (27.0%) 肺がん 78,910人 (28.1%) 大腸がん 97,429人 (34.7%) 子宮がん 31,425人 (30.1%) 乳がん 25,286人 (36.1%) 【H21年度データ】 胃がん 81.0% 肺がん 82.8% 大腸がん 64.2% 子宮がん 73.0% 乳がん 88.3%	胃がん 145,800人 (46.0%) 肺がん 145,800人 (46.0%) 大腸がん 145,800人 (46.0%) 子宮がん 53,876人 (50.0%) 乳がん 41,250人 (52.0%) 胃がん 127,172人 (46.0%) 肺がん 127,172人 (46.0%) 大腸がん 127,172人 (46.0%) 子宮がん 48,177人 (50.0%) 乳がん 35,403人 (52.0%) 胃がん 90%以上 肺がん 90%以上 大腸がん 90%以上 子宮がん 90%以上 乳がん 90%以上	・がん検診の受診者数は、いずれも増加しているものの、現計画の目標値には達していない。 ・子宮がん以外は現状が現計画の目標値と大きくかけ離れているため、現計画の目標値をそのまま据え置く。 ・子宮がんについては、国の目標受診率50%に合わせて、新たに目標値を設定。 ・新たな指標として、「受診率」を設定。 ・国の目標との比較のため、40～60歳の年齢区分を新たに設ける。(※子宮がんは20歳～69歳) ・市町村が実施するがん検診の精密検査受診率については、国と同様の目標値とする。(H22年度の間接評価で追加設定した目標値を据え置き)
		女性の乳がん、子宮がんの検診受診者増加に向けた取り組みの推進	・乳がん自己検診指導者養成講座の実施 ・時間外子宮頸がん検診への支援	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
		検診体制の整備	・がん検診の体制整備にかかる調整や検討の実施	◎	◎	◎			○	○	○	○		◎						
		未受診者・要精密検査者への受診勧奨	・市町村における検診未受診者対策や要精密検査者への受診勧奨の推進 ・がんの早期発見、早期受診につながる効果的な取り組み紹介のための研修会の開催	○	○	◎			○	○	○	◎	○	◎						
効果的ながん検診の実施	効果的ながん検診の実施	がん検診の精度管理や事業評価の実施	・がん検診の精度管理や事業評価のための生活習慣病検診管理指導協議会や保健所がん予防対策検討会等の開催 ・がん検診従事者講習会の開催	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎								
		効果的ながん検診を実施するためのデータ収集・分析	・がんの死亡、罹患、検診受診等に関するデータの収集、整理、分析及び情報の提供	◎	◎	◎			○	○	○	◎								

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標					
				行政		教育		医療機関			検診機関	関係団体	企業	県民・患者・家族	指 標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方	
				県庁	保健所	市町村	県	市町村	拠点病院	情報連携病院									その他
がん医療の充実	がん医療連携体制の強化	拠点病院等のあり方検討及び情報提供の推進	・国の動向を踏まえ、拠点病院等のあり方を検討 ・拠点病院等の診療内容や実績等に関する調査の実施 ・調査結果の情報提供について検討	◎	○				◎	◎	○	○	○	○					◎
		がん医療の地域連携体制の確保	・2次医療圏の医療連携体制の構築及び人材育成の推進方法の検討	◎	○				◎	◎	○	○							
		地域連携クリティカルパスの推進	・ポスターやチラシ等による地域連携クリティカルパスの普及啓発 ・パスの効果的な運用について、「がん診療ネットワーク協議会地域連携部会」において検討	◎	◎				◎	◎	○	○							
	各医療機関における医療提供機能の充実	チーム医療の体制整備	・医科歯科連携や栄養士、リハビリスタッフなどを含めた多職種によるチーム医療体制の構築の検討	○						◎	◎	○				◎セカンドオピニオンを実施する病院数	【H24 年度データ】 21 病院	28 病院	・拠点病院等 28 病院全てにおいて、1つ以上のがんに対するセカンドオピニオンの実施を目標値として設定。
		インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンの体制整備	・拠点病院や医師会等との連携による、インフォームドコンセント及びセカンドオピニオンの普及啓発の実施	○						◎	◎	○							
		がん診療の実態把握	・拠点病院等におけるがん診療の実態把握	◎	○					◎	◎	○	○	○					
	手術療法、化学療法、放射線療法の推進及び医療従事者の育成	2次医療圏単位における医療連携体制の構築	・県保健医療計画に基づき、2次医療圏単位での医療連携体制や役割分担等の検討	◎	◎					◎	◎	○	○	○		【医師】 ◎がん手術療法に精通した医師数 ・放射線療法に精通した医師数 ・薬物療法に精通した医師数 【看護師】 ・がん看護に精通した看護師数 ・放射線療法に精通した看護師数 ・がん薬物療法に精通した看護師数 ・乳がん療法に精通した看護師数 ・摂食嚥下療法に精通した看護師数 【薬剤師】 ・がん薬物療法に精通した薬剤師数 【放射線スタッフ】 ・放射線療法に精通した放射線技師数 ・放射線療法の精度管理を行う専門職数 【その他の専門スタッフ】 ◎チーム医療に参画するリハビリスタッフ数 ◎チーム医療に参画する栄養士数 ・がんのリンパ浮腫療法に精通した専門職数	【H24 年度データ】 294 人 6 人 6 人	350 人 10 人 10 人	・病院実態調査における各病院の要望や実態等を踏まえて、各指標の目標値を設定。
		がん医療従事者の育成支援	・しまね地域医療支援センターとの連携による、がん医療に精通した医療従事者(医師、看護師、薬剤師等)の育成及び資格取得の支援 ・医科・歯科連携による、がん患者の口腔ケアの取り組みの推進 ・適切なリハビリテーションを実施するスタッフの育成	○						◎	◎	○							
		病理専門医の育成支援	・病理専門医の育成を図る医療機関に対する、資格取得の支援	○							◎	◎							
	5大がん以外のがん対策	5大がん以外のがんに関する診療情報等の情報提供	・5大がん以外のがんに関する診療情報等の把握及び県民に対する情報提供の実施	◎	○					◎	◎	○	○						
		小児がんの医療連携体制の構築	・国が指定する小児がん拠点病院と県内において小児がんに対応する病院との連携体制構築の検討 ・県内における小児がん診療を実施する病院間の連携体制の構築支援に向けた検討の実施	◎	○					◎	○	○	○						
		小児がん患者及び家族への支援	・小児がん患者の教育や自立支援、家族への支援体制構築の検討	◎			○	○	◎										
血液がん患者に対する支援及びドナー登録の推進		・骨髄移植のドナー登録の普及啓発及びドナー登録会の実施	◎	○					○	○	○	◎	○						

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標						
				行政		教育		医療機関			検診機関	関係団体	企業	県民・患者・家族	指 標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方		
				県庁	保健所	市町村	市町村	拠点病院	情報連携院	その他										
緩和ケアの推進	緩和ケアに携わる医療従事者の育成	緩和ケアの基本的な技術等を習得するための研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 医師に対する緩和ケア研修会の実施 医師以外の医療従事者に対する緩和ケア研修会の実施 緩和ケア研修会修了者に対するフォローアップ研修会の実施 	◎	○				◎	○	○									
		緩和ケアに携わる医療従事者を育成するための各種支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各種学会等が実施する研修会、資格取得講習会等への参加経費の助成 緩和ケアアドバイザー養成研修の実施 	○					◎	◎		○								
	在宅における緩和ケア提供体制の推進	2次医療圏における在宅を含めた緩和ケア提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 「緩和ケアネットワーク会議」における、2次医療圏域内の在宅緩和ケア提供体制の整備 医師と薬剤師の連携、病院薬剤師と薬局薬剤師の連携（薬薬連携）等について検討 	○	◎				◎	◎	◎		○							
県全体における在宅を含めた総合的な緩和ケアの推進		<ul style="list-style-type: none"> 「緩和ケア総合推進委員会」における、県全体での在宅を含めた総合的な緩和ケアのあり方の検討 	◎	○				◎	○	○		○								
緩和ケアの普及啓発	緩和ケアを普及啓発するための講演会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 県、保健所、拠点病院等による緩和ケア啓発のための講演会等の実施 「がんサポートブック（地域の療養情報）」の作成による、患者への緩和ケア情報の提供 	◎	◎	○				◎	○	○		○							

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標										
				行政		教育		医療機関			検診機関	関係団体	企業	県民・患者・家族	指 標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方						
				県庁	保健所	市町村	県	市町村	拠点病院	情報連携病院									その他					
患者・家族等への支援	がん相談支援体制の充実	がん相談支援センターの認知度向上対策の強化及び相談支援体制の充実	・がん相談支援センターの認知度向上対策の強化 ・患者家族が必要とする情報提供の充実	○	○	○			◎								・がん相談支援センターの認知度	【H23 年度データ】 24%	60%	・現計画の目標値に達していないことから、現計画の目標値をそのまま据え置く。				
		がん情報提供促進病院における相談機能の向上	・がん情報提供促進病院の相談員等を対象とした研修の実施	○	○	○					◎													
		ピアサポートの充実	・ピアサポーター養成研修の実施 ・養成したピアサポーターの活動体制の整備	◎									○	○										
	がん患者団体等への支援	がん患者団体等についての情報提供の充実	・県ホームページ「しまねのがん対策」による情報提供の充実 ・医療機関による情報提供の充実	◎		○												・意見交換会の開催回数	【H24 年度データ】 8 回	10 回以上	・現状を踏まえて設定。			
		患者・家族との意見交換会の実施	・患者家族と県との意見交換会の開催 ・患者家族と拠点病院等の病院長との意見交換会の開催	◎	○	○							○	○										
	がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応	事業所等への周知や働きかけ	・職場関係者向け研修会等での事業所等への周知、働きかけ ・患者支援に取り組む事業所への支援策の検討	◎	○										○	○	○							
		就労等の問題に関する相談支援体制の整備	・相談先や支援策等を記載した「がんサポートブック（地域の療養情報）」の作成及び配布	◎											◎	○		○	○					
		就労に関するニーズや課題等の調査	・就労に関するニーズや課題等の調査及び対策検討	◎												○	○		○	○				
		患者の経済的負担軽減のための支援	・患者の経済的負担の軽減について、実現可能な支援方法を検討	◎															○	○				

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標					
				行政		教育		医療機関			検診機関	関係団体	企業	県民・患者・家族	指 標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方	
				県庁	保健所	市町村	県	市町村	拠点病院	情報連携病院									その他
がん登録の推進・活用	がん登録の推進	院内がん登録の実施医療機関の促進	・がん診療ネットワーク協議会を通じた院内がん登録の実施の働きかけ	◎						◎	◎						・院内がん登録の実施医療機関数 【H24 年度データ】 12 か所 ◎地域がん登録の登録精度 (DCN の割合) 28.6%	16 か所 10%未満	・院内がん登録の実施医療機関数については、これまでの実績の 8 割増を目標値として設定。(5 年間で 4 か所の増) ・地域がん登録の登録精度については、精度が高いとされている一部の都道府県並みの 10%未満を目標値として設定。
		地域がん登録の精度向上	・がん登録実務者向け研修会の実施	◎	○						◎	○	○						
	がん登録の活用	地域がん登録の周知	・県民や医療関係者等への広報活動の実施		◎		○					○	○						
がん登録データの分析体制の構築		・研究者等に対するがん登録データの利用方法の周知 ・がん登録データの分析体制の検討及び構築	◎	○	○					◎	○	○							

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標					
				行政		教育		医療機関			検診機関	関係団体	企業	県民・患者・家族	指 標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方	
				県庁	保健所	市町村	県	市町村	拠点病院	情報提供機関									その他
がんに関する普及啓発・情報提供の促進	がんに関する普及啓発の推進	がんに関する知識などの普及啓発	・がんに関する普及啓発イベントやキャンペーンの実施	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎				
		幅広い関係者と連携した啓発活動の実施	・「がん検診啓発サポーター」や「がん検診啓発協力事業所登録」の実施	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	がんに関する普及啓発の推進	県及び市町村による情報提供の充実	・県ホームページやその他メディアによる情報提供	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	・県ホームページへのアクセス数	【H23 年度データ】 月平均 7,340 件	月平均 11,000 件	・これまでの実績を踏まえて設定。(5年間で約4,000件の増)	
		ホームページ以外のメディア等による情報提供	・「がんサポートブック(地域の療養情報)」の作成及び配布	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
		医療機関からの情報提供の促進	・拠点病院を含む全ての医療機関からの情報提供の促進	○					◎	◎	◎								
		患者が必要とする情報の提供	・医療機関の治療内容等、患者が必要とする情報提供の検討	○					◎	◎	◎			○					
		患者・家族の学習環境の整備	・県立図書館等におけるがん関連図書の整備	◎	○	○			○	○	○			○					

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	主な施策等	取り組みの主体 (◎主体 ○支援・協力)										数 値 目 標				
				行政		教育		医療機関			検診機関	関係団体	企業	県民・患者・家族	指標	現 状	目標値 (H29 年度)	目標値設定の考え方
				県庁	保健所	市町村	県	市町村	拠点病院	情報連携								
がんに関する教育・研究の推進	子どもに対するがん教育	生活習慣の正しい知識と適切な自己管理能力の習得	<ul style="list-style-type: none"> 管理職、保健主事、養護教諭等へのがん教育の周知と理解を深めるための研修会等の開催 地域の人材活用や効果的効果的な教材利用等、関係機関の協力を得たがん教育の実施 	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	◎保健学習以外でがん予防の取組を行う学校数 【H24 年度データ】 小学校 中学校 高等学校他 (※H25 年 2 月に調査を実施して現状を把握)	小学校 229 校 中学校 104 校 高等学校他 65 校 (※H24 年度現在の学校数)	<ul style="list-style-type: none"> 全ての学校で取り組む 		
		命の大切さを学び病氣と闘う人に対する理解と意識づくり		◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○					
	大学におけるがん医療従事者の育成・研究の推進	大学におけるがん専門医等医療従事者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 島根大学医学部「がん教育センター」におけるがん医療従事者の育成 島根県立大学出雲キャンパス「地域連携ステーション」におけるがん医療従事者の育成 	○					◎			◎						
がんの臨床研究等の推進		<ul style="list-style-type: none"> がんの臨床研究等に取り組む医療機関や研究者等に対する支援策の検討 	○					◎	○									